

2024/05/12（日）の中医推拿セミナー

- 一、中医推拿療法の施療部位と中医学の腧穴理論
- 二、推拿健康法——胸苦しいの改善と予防
- 三、ギックリ腰の改善における中医推拿療法の応用
- 四、推拿療法の基本手技（その⑤）
- 五、推拿練功の紹介——「平手托塔」

一、中医推拿療法の施療部位と中医学の腧穴理論

（一）腧穴の概念

- 腧穴とは 「神気出入の所」——《靈樞》
- 腧穴の字義 腧：輸と同じ、移し運ぶ意味です。（機能）
穴：隙間、くぼんだ所の意味です。（形）

（二）腧穴の効用

1. 近治効用 腧穴の近辺に調整
2. 遠治効用 同経の遠処に調整
3. 特定効用 特別な治療効用

（三）腧穴の分類及び数量

1. 分類 (1) 経 穴（経脈上の腧穴） ①普通穴 ②特定穴
(2) 経外奇穴（経脈に属しない腧穴）
(3) 阿 是 穴（圧痛点や反応点、不定所）
2. 数量 (1) 経 穴 361（確定）
(2) 経外奇穴 20～（臨床経験）
(3) 阿 是 穴 不定（発病の時）

（四）腧穴の名称

1. 所在部位に基づく 例え：腕骨、乳根、顴髎、大椎
2. 治療効用に基づく 例え：睛明、光明、水分、牽正
3. 天体地理に基づく 例え：承山、大陵、太谿、合谷、水溝、湧泉、小海
4. 動植物名に基づく 例え：伏兔、魚際、犢鼻、攢竹
5. 建物名に基づく 例え：天井、印堂、巨闕、地倉
6. 中医学理論に基づく 例え：三陰交、百会、氣海、血海、心俞

（五）腧穴の定位法

1. 指寸法 同身寸、指幅

2. 体表標記の定位法（解剖標記） 五官、乳頭、臍、関節、髪、爪甲、皮膚の皺 など
3. 骨度分寸法 頭骨の横幅、四肢部骨の長さ など

（六）腧穴の応用

- 1 診察弁証の応用 ①病症の反応処 ②病所の判断処
- 2 治療の応用 ①処方配穴用 ②調節刺激用

二、推拿健康法——胸苦しい症の改善と予防

1. 内関穴—按揉法
2. 膻中穴—擦法・摩法
3. 肋骨間—推法（指尖）

三、ぎっくり腰の改善における中医推拿療法の弁証論治

（一）概論

1. 定義 突発して起こされた腰部の激痛と動き制限の病症。医学的には「急性腰痛」といいます。
2. 現代医学の対応 【検査】画像検査では異常を発見できない
【原因】ほとんどの場合、原因を特定することはできません。
【推測】筋肉、背骨の周りの軟骨、椎間板のトラブル
【発展】1週間～1か月以内に自然に治ります。

（二）中医学的な弁証

1. 症状 ①痛み ②可動状態の異常 ③随伴症状
2. 診察 ①望診 ②按診 ③問診 ④脈診、舌診
3. 分類（証型） ①病勢緩急の分類——急性病症類
②病因内外の確定——外邪襲絡・打撲損傷・過労久耗・加齢老化
③正邪盛衰の判別——実証・虚証
④病位表裏の確定——経脈所属・動き制限の表現
⑤病性寒熱の弁別——寒性・熱性

【弁証のまとめ】気滯血瘀証・風寒湿阻絡証・腎精気虧虚証

（三）推拿療法の施治

1. 治療原則（治法） 急則治其標⇒●経絡疎通・行気活血 ●理筋整肌・活利関節
2. 処方 ①経脈 〔背面〕督脈 膀胱経
〔側面〕胆経
〔正面〕任脈 胃経 脾経 腎経 肝経
②腧穴 ■基本腧穴 阿是穴 委中 腰痛穴 腎俞 環跳 等
■弁経取穴（相關する経絡上）

